東京理科大学報

TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

2021.April
Vol. 221

TUS Journal

人と
陸と
水と。

陸を、水を、考える。

特集　研究最前線

持続可能な社会のために 陸、水へのアプローチ

水を飲み、陸上で暮らす私たち。
ただそれだけを続けていたのであれば
現在のような文明社会はなかった。
人間はいつの時代も、考えてきた。
より良い物や仕組みをつくってきた。
大地をどう守り、どう活かすのか。
水をどう確保し、
どうやって使うのか。
それにもう一つ、そうした歩みを
これからも続けられなければいけない
という、高いハードルをプラスして
今この瞬間も考え続けている。
過去から現在へ、未来へと
バトンタッチするに値するであろう
人間の真摯な取り組みの数々。
ここでは特に私たちに身近な
陸と水の研究にスポットを当てて
本学の研究者を通して紹介する。

TUS Journal CONTENTS

1　**特集**　研究最前線
持続可能な社会のために
陸、水へのアプローチ

3　陸を豊かに。　先進工学部 生命システム工学科　宮川 信一 准教授
理工学部 応用生物科学科　坂本 卓也 講師

5　水を生かす。　工学部 機械工学科　元祐 昌廣 教授
理工学部 先端化学科　酒井 健一 准教授

7　Labo Scope

8　理大人

9　STUDENT LABO

10　STUDENT ACTIVITY

11　学長室だより

12　TOPICS & INFORMATION

物華天宝

おうち時間とスペース・コロニー

おうち時間のストレス解消のためには、適度な運動が必要ですとは言われていますが、「適度」とはどの程度のことなのでしょうか。ウェアラブルデバイスの普及によって心拍数や活動量が簡易に測定可能な腕時計タイプのものが普及してきていますが、いわゆる運動による身体と心の相関を定量的に判断するまでには至っていません。この課題解決に向けて、唾液、涙、汗などの体液に含まれている成分（例えば乳酸、イオン、ケトン体、コルチゾール）をモニタリングするウェアラブルセンサが注目されています。体液成分をさりげなく測定し、ストレスとの相関を取ることで将来的に、スマートフォンでストレス度が数値ですぐ分かる時代がくるかもしれません。この技術は、宇宙旅行中のスペースコロニー（人工の居住空間）におけるストレスモニタリングにも役立つと考えており、現在「スペースシステム創造研究センター」にて研究を進めています。筆者は、1997年に本学（理工学部工業化学科）に入学したときに、「宇宙」に関連するテーマに関わる機会があるとは想像もしておりませんでした。人生何が起こるか本当に分からないものです。

理工学部 先端化学科 准教授 四反田 功

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

今回の「特集」は、持続可能な開発目標（SDGs）
「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさも守ろう」の関連研究です。

REPORT 01

植物や生物と環境との関係を解明し生態系や生物多様性を守っていく。

総合研究院
生物環境イノベーション研究部門

先進工学部 生命システム工学科
宮川 信一 准教授

理工学部 応用生物科学科
坂本 卓也 講師

陸を豊かに。

ENRICH THE LAND.

SHINICHI MIYAGAWA

専門は発生生物学、環境生物学。環境中に放出された化学物質の生物への影響も研究テーマの一つ。

学部学科、分野の壁を超えて研究を推進する総合研究院。

東京理科大学では、教育と同時に多くの研究が進行していることは言うまでもない。その研究において、全学で推進しているのが分野を横断する取り組みだ。専門の異なる研究者が集まることで、これまでにない研究成果を目指そうというのである。そうした取り組みの中心に総合研究院があり、20の研究部門、3つの研究センター、1つの研究拠点から成り立っている。さらに総合研究院は、学内外、国内外の壁を取り払い、学際的な研究を推進するとともに、研究者の流動性・機動性を強化し、社会とのつながりの強化を目指すものでもある。宮川准教授と坂本講師が所属する生物環境イノベーション研究部門も、そうした研究組織の一つだ。

地球環境、生物多様性などに関する多種多彩な研究が進行中。

坂本講師が研究で使用するシロイヌナズナ。

生物環境イノベーション研究部門は、急激に変動する生存圏環境において、生物が生きていける環境を守り、食と健康に役立つ技術の開発を目指している。多くの研究者がそのテーマのもとに活動する中で、宮川准教授は環境中に放出された化学物質が生物にどのような影響を与えるのかを明らかにしようとしている。「身近な化粧品や日用品、医薬品などに由来する化学物質が生物に悪影響を与える可能性があります」と宮川准教授。今すぐに人間に影響が出る心配はないそうだが、公害がそうであったように、影響が出たときには手遅れになってしまう。実際にメダカを使った実験では、ある種の医薬品を与えた場合、行動に変化が起きるそうだ。その時に、遺伝子に何が起きているのかを慎重に調べているという。こうした研究は規制の基準値づくりに欠かせないものとなるそうだ。一方、坂本講師は植物の環境応答・適応の仕組みの解明を目指している。「植物が生きていく上で欠かせない必須栄養元素の1つにホウ素がありますが、そのホウ素も土壌中に過剰に存在すると、逆に植物の生育に害をもたらします」と坂本講師。研究では、ホウ素過剰によってDNAの損傷が起こること、そして細胞内にあるDNAとタンパク質の複合体クロマチンがその構造を安定的に保つ仕組みによって、ホウ素過剰によるDNA損傷を防いでいることが分かってきたそうだ。また、坂本講師は植物の根の環境応答に関する実験を行っている中で、シロイヌナズナの根に塊根様組織（イモ）ができることを見つけた。この塊根様組織ができる仕組みを明らかにすることで、イモ形成の分子メカニズムの理解に貢献できるのではないかと考えているそうだ。

医薬品類によってメダカに起きる反応を遺伝子レベルで解析している。

共同研究が可能にする人類存続に資する新しい学術領域。

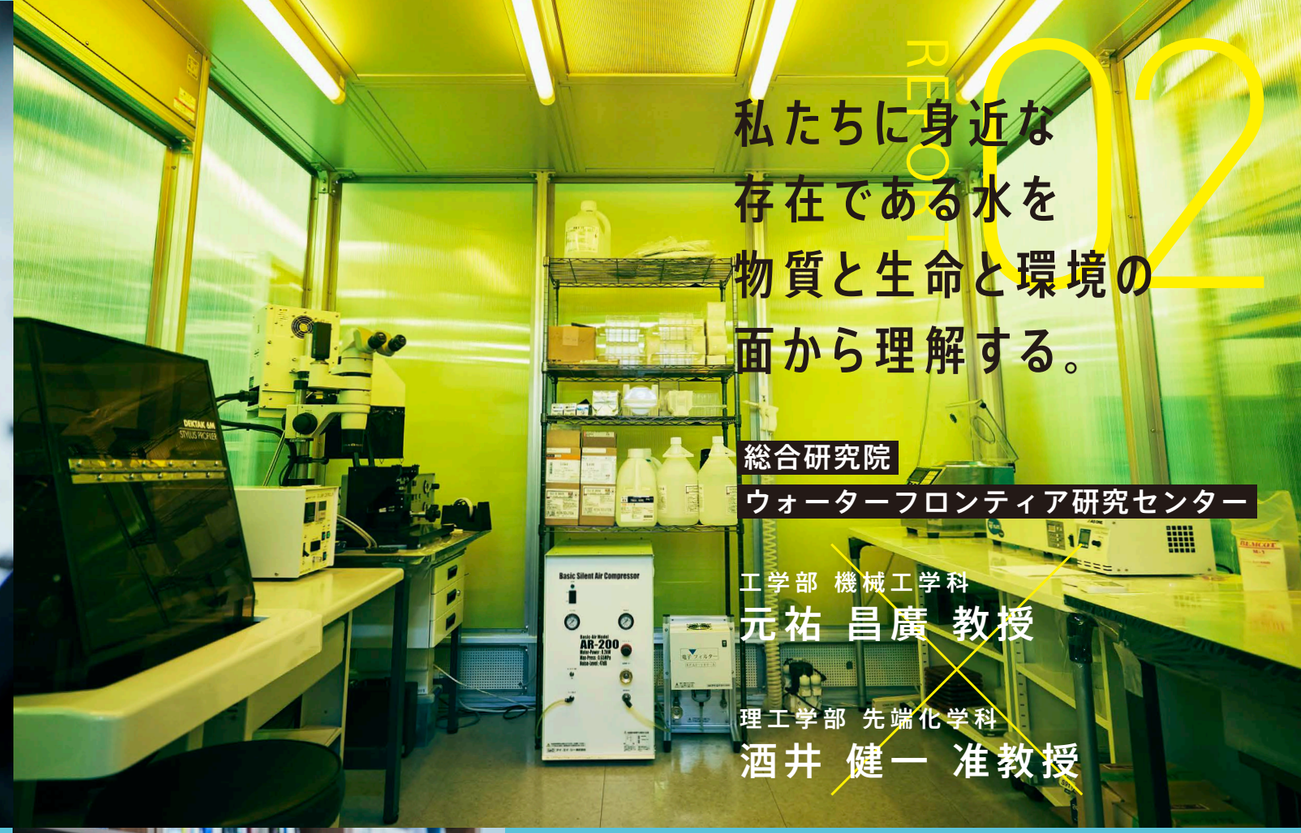
環境という大きなテーマについて研究を進める上で重要なのは多くの力の結集だ。宮川准教授が取り組む化学物質による生物への影響の解明は、他大学も参加するプロジェクトとして進行している。「川にはどれぐらいの薬品が流れ込んでいるのかを他の大学が調べ、化学物質がどのように生物に作用するのかを理科大が担当し、さらにもっと大きな個体レベルや群レベルでどんな影響があるのかをまた別の大学が調べています」と宮川准教授。一方、坂本講師は、自分の研究で培ってきたクロマチン解析の技術を生かして、研究院の別のグループの研究にも参加しているという。坂本講師は言う。「自分では思いもつかないような分野、テーマの研究に参加できるのが共同研究のメリットです」。いろいろな専門分野の研究者が有機的に連携することで、これまで不可能だった研究が可能になり、新しい学術領域も生まれてくる。そのような胎動を、総合研究院をはじめとして、東京理科大学では多数目撃することができるのである。

TAKUYA SAKAMOTO

専門は植物分子生物学。環境問題や農業生産問題の解決へ向けて、主に植物の環境応答・適応の仕組みを研究。

SAVE
WATER.

水を生かす。



REPORT 02

私たちに身近な存在である水を物質と生命と環境の面から理解する。

総合研究院
ウォーターフロンティア研究センター

工学部 機械工学科
元祐 昌廣 教授

理工学部 先端化学科
酒井 健一 准教授

水に関する国際的なコア研究拠点、ウォーターフロンティア研究センター。

研究センターとは、学術分野の枠を超えた、規模の大きな研究組織のことである。ウォーターフロンティア研究センターは3つある研究センターの1つで、「物質と水」「生命と水」「環境と水」の3グループを形成して、水研究のワンストップサービスを目指している。各研究グループには、材料・計測・理論の研究者が学部の枠を超えて集まり、学際的、個性的な研究が多数進んでいる。このように、物質と水の接点である水界面に特化した国際的コア研究拠点は、その学術的、社会的重要性にもかかわらず、ほとんど存在していない。東京理科大学が、国内外のトップランナーと連携し、そうした性格の研究拠点を確立しようというのである。

MASAHIRO MOTOSUKE

専門は熱流体工学。熱流動制御、光計測、マイクロフルイディクス、マイクロ・ナノデバイスなどの研究を行っている。

社会の持続的な発展につながるさまざまな分野の水研究を推進。

水の研究といっても普通の人がイメージするものとはかなり違っている。元祐教授は言う。「水そのものの研究はかなり行われてきましたが、水が材料や何かに入り込むとか、あるいは材料が水にどう作用するのかといった研究はまだ教科書にも載っていない分野なので、我々はそこを徹底的にやろうということです」。実際にマイクロ・ナノ熱流体工学を専門とする元祐教授の研究室には、試作品のデバイス類が多く並び、肉眼では見えないような小さなスケールで水が流れている。そこでつくられているのは血液や液体成分などから、何かの物質を見つけ出すための装置に関連したものだ。「現代では医療診断機器をはじめ多くの分野で各種システムの小型化が進められていて、微小スケールでの熱や流体の振る舞いの理解の重要性が高まっています」と元祐教授。一方、酒井准教授の専門は、水にも油にもなじみやすい性質を持つ両親媒性物質、中でも界面活性剤は、我々の暮らしにとても密接なものだ。「界面活性剤が活躍する分野はとても広く、朝起きてから夜寝るまで、生きている間はずっと関わりがあります」と酒井准教授。食器洗いやボディソープなどの洗剤、化粧品、食品、さらにはいろいろな機械の潤滑油、また生体内でも界面活性剤と同等な物質が生産されていて消化を助けたりしているそうだ。酒井准教授は、界面活性剤の中でも少ない量で効果を発揮するジェミニ型界面活性剤の研究に取り組んでいる。また、界面活性剤にアルコールや水を足してつくるαゲルや高濃度のエタノールを含む水溶液でつくった泡など、健康で衛生的な環境をつくったり、暮らしを豊かにするための研究を続けている。

血液の分析装置に使われる流路の型

社会貢献につながる共同研究や産学連携研究が進行中。

元祐教授の研究室では、実施されている研究のほとんどが、国や大学、研究機関、企業との共同研究である。「自分たちだけではできる範囲に限界があります。力を借りたいという時に誰が何をできるのか知っていることが重要で、そういう意味で研究センターの活動は貴重です」と元祐教授。そうした限界を超えた研究が可能になることで、例えば持っているだけで人の健康状態が分かるようなバイオセンサーデバイスの開発も夢ではないそうだ。酒井准教授の研究室は、生活に密着した学問領域であるため民間企業との共同研究を活発に行っている。「企業での製品開発は、非常に多くのサンプルをつくって比べるというケースもあるそうなので、私たちの研究が発展することで戦略的に開発ができるようなお手伝いができたらいいと思っています」と酒井准教授。ここまで見てきたように、水と一口に言ってもとても奥深い。ウォーターフロンティア研究センターでは、他にもたくさんの興味深い研究が進行中なのである。

成分の濃度の違いにより
粘度を変えた2種類のαゲル

KENICHI SAKA

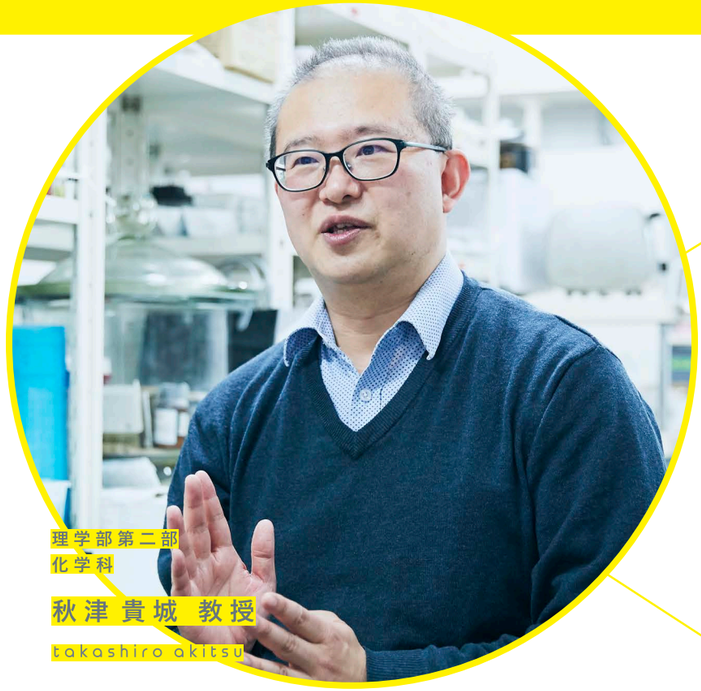
専門はコロイド・界面化学。環境に優しい界面活性剤、乳化、αゲル、吸着現象の解析などの研究を行っている。

本学のさまざまな先端研究を紹介

Labo Scope

vol. 27

さまざまな応用が期待される「錯体」のしくみや特性を原理的に解き明かす。



理学部第二部
化学科
秋津 貴城 教授
takashiro akitsu

金属錯体を使った複合機能材料から、新たな機能や作用を引き出したい。

錯体（さくたい）と聞いて、すぐにピンとくる人は、少ないかもしれない。だが、実は私たちの身近なところにも錯体は存在する。例えば、血液の中にあり、酸素を運搬する役割を担っているヘモグロビンや、植物の光合成で光を吸収するクロロフィルもその一つ。錯体とは、中心に鉄やマグネシウムのような金属イオンがあり、まわりに有機物が結合している化合物の総称である。錯体の組み合わせは無限にあり、光や磁気、触媒、電子伝導などさまざまな機能を発揮する。秋津教授の研究室では、錯体の仕組みや作用の解明はもちろん、錯体をタンパク質や色素、高分子など、ほかのさまざまな材料と組み合わせて新しい複合材料を創出したり、錯体に光を当てた時に起こる現象や作用などについても詳しく研究している。具体的には、バイオ燃料電池の金属酵素と電極間の電子移動の中継点になるような金属錯体をつくって、電子の流れをスムーズにさせる研究や、海外の薬学・医学分野チームと活性酸素をなくす錯体の機能について共同研究をしている。また、燃えにくい素材を作るための研究も進んでいるという。ほかにも、太陽電池から顔料、有機EL、がん治療など、錯体の応用範囲は多岐にわたる。「錯体化学は化学の十字路とも呼ばれており、さまざまな分野との境界領域と密接に関係しながら展開していけるところが魅力。あらゆるものに応用させるためにも、まずは学術的・原理的に錯体の特性と機能をしっかりと解明することが重要。自分たちの研究データにより、錯体を応用しようと考えている人たちに、ここまでは特性として明らかだ、という指針を示すことができればうれしい」と秋津教授。秋津研究室での研究は、そのほとんどが基礎研究だというが、無限の可能性を秘めた錯体の研究がさらに進めば、やがては、私たちの生活をさらに豊かにするものへと応用されることは間違いなさそうだ。

Pick Up!
光学顕微鏡で金属錯体結晶を観察する様子。

Pick Up!
多くの金属錯体は特有の美しい色を持っている。

PROFILE

1995年大阪大学理学部化学科卒業、同大学院理学研究科修了、その後、大阪大学蛋白質研究所研究員、慶應義塾大学理工学部助手、東京理科大学理学部第二部講師、准教授を経て2016年4月より現職。博士（理学）。専門分野は、錯体化学、物理無機化学。

「Labo Scope」は本学HPで動画でもご覧いただけます。
※秋津教授は、6月頃に公開予定。

各界で活躍する卒業生を紹介

理大人 RIDAIHITO

河瀬 季 さん

弁護士法人モノリス法律事務所
代表弁護士

ITと法律のスペシャリストとして企業が抱える問題をワンストップで解決する。

理科大の工学部建築学科を卒業した河瀬さんは、弁護士。しかも、建築関連の訴訟には一切携わっていないというから驚きだ。河瀬さんが代表を務めるモノリス法律事務所は、ITとインターネットに特化した法律事務所だ。昨今、問題となっているインターネット上の誹謗中傷や風評被害、サイバー攻撃など、ITの知識と法律の知識の両方を要する案件を得意としている。例えば、SNS上で企業イメージを失墜させる誹謗中傷が拡散された場合、名誉毀損やプライバシーの侵害を主張し削除申請を行えるのは、被害を受けた当事者と弁護士のみ。一方、その時点で弁護士に相談しても、どの書き込みを消し、誰を相手に訴えるのか判断はつかない。だから被害にあった企業は、ITの専門家と弁護士と別々に相談をする必要があり、時間もお金もかかっていた。それが、両方の知識を持つ河瀬さんの事務所なら、ワンストップで問題解決ができるのだ。幼い頃からPCを使いこなしていたという河瀬さんは、大学在学中、すでにITエンジニアとして業務を請け負いながら、ITライターとして専門誌への寄稿、さらには自らIT企業を経営していたという。「弁護士としてのスタートが遅かった分、心がけたのは『選択と集中』。案件は得意のIT分野に絞り、より深く切り込み経験を積んできました」。徹底した選択と集中のおかげで、事務所は多くの企業から信頼を得て、開所からわずか4年で、弁護士8人、所員31人を抱える事務所へと成長した。さらに5年以内に、IT×法律の分野でトップのポジションを狙うという。「建築学科で学んだことが今の仕事に直結はしていないけれど、理系的発想というものは、今でも変わりません。もっと言えば、理科大に入っていなければ、数学やITというものを、どう社会活動とつなげていくかという発想はなかったかもしれません。分野は違えど学部を卒業していたことで、法科大学院にも行けましたしね」と笑う河瀬さん。華麗なる転身を遂げた河瀬さんのように、これから先、理科大の卒業生が、工学や化学に強い弁護士として登場する日も近いのではないだろうか。

▲ 休憩にも利用するという最上階のラウンジ。
◀ 河瀬さんの著書『デジタル・タトゥー ～インターネット誹謗中傷・風評被害事件ファイル～』（写真左）は、2019年に放映されたNHK土曜ドラマ『デジタル・タトゥー』の原案になっている。

PROFILE

2008年 東京理科大学 工学部建築学科卒業。在学中よりITエンジニア、ITライター、ITベンチャー企業の経営などを経験。その後、東京大学大学院法学政治学研究科を卒業。司法試験を受け弁護士に転身。2017年モノリス法律事務所を設立し独立。100社以上の企業と顧問契約を結ぶほか、企業の代表取締役や監査役、最高法務責任者等を務める。MENSA会員。

「理大人」は本学HPでも公開しています。

STUDENT ACTIVITY #08

ジュニアからシニアへ。トップ選手がひしめく全日本フィギュアスケート選手権に初出場！

先進工学部 マテリアル創成工学科 2年 長谷川 一輝さん

※2021年4月 基礎工学部 材料工学科は
先進工学部 マテリアル創成工学科に名称変更しました。

スケートの練習は授業前の早朝や夕方以降が多い

数ある冬季スポーツの中でも圧倒的な人気を誇るフィギュアスケート。日本人選手のレベルの高さや層の厚さは、世界的にも知られている。国内最高峰の大会である「全日本フィギュアスケート選手権」（男子シングル）に、本学の長谷川さんが初出場を果たした。

北海道出身の長谷川さんがフィギュアスケートを始めたのは5歳。先に始めていたお姉さんの影響で競技スケートの道へと進んだ。広い北海道では練習場を確保するため、車で1～2時間かけてリンクに向かうことも多々あるそうで、その移動時間を活用することで、スケートと学業を両立させてきたという。ジュニア大会で活躍し日本スケート連盟の強化選手にも選ばれた長谷川さんだが、触媒などの知識を学んでみたい、学業も全力で頑張りたいと受験を決意。フィギュアスケートの大会に出場しながら自力で合格を掴み取った。現在は、材料工学科で基礎科目を中心に学んでいるという。昨年は、コロナの影響でオンライン授業だったため、しばらく北海道で暮らしていたが、葛飾キャンパスでの授業に備え、拠点を東京に移したそうだ。「東京では雪も降らないし、リンクまで自転車で行けるので、移動は随分楽になりました。キャンパスに通い始めたら練習との両立は大変かもしれないけど、実際に大学へ通うのはとても楽しみです」。そんな長谷川さんの演技の魅力は、高いジャンプと、華麗なスピン、そして安定感のある滑らかなスケーティング。端正な演技にファンも多い。また、男子選手でも難しいとされるトリプルアクセルを練習では成功させている。「全日本フィギュアでは、20位と課題の残る成績となりましたが、世界のトップ選手の素晴らしさを体感することができ、さらに自分を磨きたいという原動力になりました。最終グループで滑る上位の選手は、複数の4回転を成功させているので、まだまだ練習しなければと思います。来季もこの大会に出場できたら、少しでも上位に食い込めるよう頑張りたいと思います」。どんなパフォーマンスを見せてくれるのか、次のシーズンが今から待ち遠しい。

拠点を東京に移した長谷川さん

Voice!

貴重な大学生活だからこそ、
やりたいことには、どんどん
挑戦してきたいです！

KAZUKI HASEGAWA

全日本フィギュアスケート選手権2020（男子シングル／SP）で『Anthem』を熱演

©写真：森田直樹／アフロスポーツ

STUDENT LABO #16

マウスから取り出した細胞などは、なるべく外気を遮断した状態で培養している

自然IgE抗体の過剰形成のメカニズムを解き明かして人体への影響を調べる。

生命科学研究科 生命科学専攻
博士後期課程2年
天野 峻輔さん

毎日のようにニュースに登場する「PCR検査」や「抗体検査」というキーワード。新型コロナウイルス感染症の流行によって、今、改めて注目を浴びているのが抗体や免疫だ。免疫は、感染症やアレルギー疾患、がん、自己免疫疾患など、数多くの疾患に関わっているといわれているが、天野さんは、抗体を作るB細胞、中でもIgE抗体についての研究を専門としている。抗体には、IgM、IgG、IgA、IgEなど、複数の種類が存在し、IgE抗体は、過剰に産生されることでアレルギーの発症や増悪を引き起こす。近年は、アレルギー発症のリスクを左右する因子として、腸や肺、皮膚などに共生する常在菌にも注目が集まっているという。「例えば、腸内細菌はIgE抗体の産生を抑えて、食物アレルギーを抑制することや、皮膚の細菌が産生する毒素によりIgE抗体が誘導されてアトピーを重症化させることなども報告されています。また、喘息の発症にもIgE抗体が関わっており、肺内細菌叢の変化がその後の喘息発症のリスクファクターになる可能性が示唆されています。このように肺内細菌叢もIgEの誘導に関わっているのではないかと考え、今研究をしているところです」と天野さん。普段は、生まれつき血中のIgE抗体価が高い、遺伝子改変マウスを使用しての研究が主だというが、実際はマウスと人間では、常在菌の種類も数も違うので、今は地道に少しずつ解明している段階だという。天野さんは、薬学部の出身。疾患やその原因、治療薬などを勉強していく中で、免疫細胞というものがさまざまな疾患の根本になっていると感じることがあり、その根本である免疫学を理解することができれば今後、自分が、がんや感染症の研究に挑戦したいと思った時にも必ず役立つと考え、免疫学を専門に学び始めたそうだ。「近年では抗体医薬だけでなく、免疫細胞そのものを使った治療薬なども盛んに研究開発されており、今後もいろいろな疾患の治療に免疫学の知識が役に立てばうれしいです」。まだまだ謎に包まれている免疫や抗体の世界だが、さまざまな疾患に苦しむ多くの人を助ける希望の光になってほしい。

ウイルスやバクテリアなどの検出結果データ

多くの検体を一気に調べることができる

Voice!

周りの人に流されることなく、
自分のやりたいことを
とことん貫き通してください！

SHUNSUKE AMANO

学長室だより

It's a president room. Vol.05

実力主義、未来のために

学長事務取扱
岡村 総一郎

新入生の皆さん、大学院、専攻科に進学された皆さん、ご入学ご進学まことにおめでとうございます。昨年度は、コロナ禍の中での受験や進学の準備を強いられ、苦労も多かったことと思います。在校生の皆さんも、慣れない遠隔授業や多くの課題への対応で大変な1年だったのではないでしょうか。困難な状況は続きますが、新学期を迎え、大学としても新しい生活様式に対応した授業を展開して参りますので、皆さんも気分を一新し、勉学に励んでいただければと思います。

東京理科大学の建学の精神は、「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」、英語では"Building a better future with Science"というものです。また、本学を象徴する言葉のひとつに「実力主義」があります。この実力主義は、「縁故、財力、生い立ちや経歴、年齢に関係なく、その人物がもつ意欲や能力こそが一番大切である」という考え方に基づきます。本学では、1943年までは入学定員を定めず、入学試験も課さず、意欲ある者全員に門戸を開いてきました。年齢、経歴、家柄、貧富に関係なく、志願してきた人を全員入学させる一方、実力がついた者だけを社会に送り出すという方針を貫きました。その伝統は今も受け継がれており、ほとんどの学科で関門制度を設け、進級や卒業を厳しく判定しています。これは、「より良い未来を拓く実力」を持った人材を育成することが本学の使命だと考えているからです。

現在、世界は多くの課題を抱えています。国連からは、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人々が平和と豊かさを享受できるよう、SDGsと呼ばれる開発目標も示されています。それら諸課題を解決し、「より良い未来を拓く」ための実力とはどういった要素で構成されるものでしょうか？ 我々は、次の4つだと考えています。

①幅広い教養、正しい倫理観を備え、人々や社会が求めることに対し使命感を持って応え、世界の発展・持続に率先して貢献するノブレスオブリージュの精神

②高い専門性とともに、その構築で培った論理的思考力とエビデンスに基づく科学的思考力

③自然や社会の中から新たな問題を感知し、独自の視点で物事を捉え、柔軟な思考によって新しい学問領域やイノベーションを創出する力

④グローバルで高度に専門化した社会において、多様な人々と積極的に交わり、専門分野の壁を乗り越えて共創できる力

皆さんが学ぶ専門分野はそれぞれ異なりますが、一人ひとりが本学で学び得たものを活用し、より良い未来を拓くために活躍してほしいと切に願っています。

学長室の業務執行体制が新しくなりました。

【学長事務取扱】岡村 総一郎
学長室総括、人事、予算、起業家育成推進
キャンパス：北海道・長万部
学部・研究科：経営学部、経営学研究科（MOT含む）

【副学長】（総括副学長）北村 春幸
総務、学生支援、広報、リスク管理、環境安全、施設
機構（学生支援）：機構長、学生支援センター長、キャリア支援センター

【副学長】渡辺 一之
教育（正）、自己点検・評価、図書館
機構（教育支援）：機構長、教職教育センター、教養教育センター
キャンパス：神楽坂
学部・研究科等：理学部第一部、理学部第二部、理学研究科、教養教育研究院

【副学長】藤代 博記
研究機構（研究推進）：機構長、研究戦略・産学連携センター、研究機器センター、生命医科学研究所
キャンパス：葛飾
学部・研究科：工学部、先進工学部、工学研究科、先進工学研究科

【副学長】若山 正人
国際化推進、データサイエンス教育・研究推進、学外連携機構（国際化推進）：機構長、国際化推進センター

【副学長】井手本 康
入試、教育（副）、再編
機構（教育支援）：教育開発センター長
キャンパス：野田
学部・研究科：理工学部、薬学部、理工学研究科、薬学研究科、生命科学研究科

【特任副学長】秋山 仁
理数教育研究センター長、近代科学資料館長

【特任副学長】高柳 英明
総合研究院長

【特任副学長】平川 保博
社会人教育（オープンカレッジ）

【特任副学長】向井 千秋
宇宙教育プログラム推進、ダイバーシティ推進

研究・課外活動の成果が優秀な学生を表彰

3月11日（木）、神楽坂キャンパスにて「2020年度東京理科大学学生表彰式」を行いました。学生表彰は、研究等の成果が特に優れていると認められる学生、また課外活動において優秀な成績や功績のあった団体、個人を対象とし、2020年度は学業・研究の分野で12名、課外活動の分野で1名を表彰し、表彰状と副賞を贈呈しました。

表彰事由等の詳細は本学ホームページをご覧ください。

TOPICS & INFORMATION

2021.SPRING

東京理科大学の最新ニュースと情報をお届けします！

新理事長 就任挨拶

TOPICS 01

2021年4月1日付にて、学校法人東京理科大学の理事長職を拝命いたしました。長い歴史と伝統のある本学の経営を担わせていただくことを大変光栄に感じると同時に、その責任の重大さに身の引き締まる思いでおります。本学は1881年に、「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」を建学の精神として誕生しました。以来140年にわたり、伝統と革新のバランスをとりつつ大きな成長を遂げ、今日では日本を代表する理工系総合大学に発展しています。しかし、現代の世界を取り巻く課題はより一層複雑化しています。本学が従来以上に社会に貢献していくため、さまざまな課題を正確に把握し、その解決を目指した活動を進めていかなければなりません。今年は、本学が創立140周年を迎える節目の年となります。これからも本学で学ぶ学生が"真の実力"を身に付けて社会で大きく活躍できるよう、充実した教育環境や最先端の研究環境の整備に尽力したいと考えています。10年後の創立150周年、そしてその先の未来に向かって本学がさらなる発展を遂げるため、法人の運営に努めてまいりますので、皆さま方のご支援とご協力をいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

新理事長
浜本 隆之

＜略歴＞1997年本学工学部電気工学科 嘱託助手に採用、講師、助教授（准教授）を経て、2011年同学科教授。以降、工学研究科長、工学部長を歴任し、2018年理事、常務理事。博士（工学）。専門は画像工学で、画像処理や認識、画像入力デバイスの研究に従事。

2021年度および2020年度入学生対象　入学式を挙行

TOPICS 02

2021年4月9日（金）に日本武道館（千代田区）で2021年度入学式が行われ、本年度は学部、大学院、専攻科合わせて5,489人が入学しました。また昨年、新型コロナウイルス感染症の影響により式典を中止した2020年度入学生のための入学式も同日開催しました。式典では、岡村総一郎学長事務取扱による式辞、浜本隆之理事長祝辞のほか、小山恭弘こうよう会会長より祝辞がありました。新入生宣誓では「歴史ある本学で学べることに喜びを感じるとともに、学生としての自覚と誇りを持ち、勉学に励みたい」と力強い言葉がありました。

当日のアーカイブ動画を公開中です。本学ホームページをご覧ください。

2020年度　学位記・修了証書授与式を挙行

TOPICS 03

2021年3月18日（木）に日本武道館（千代田区）で2020年度学位記・修了証書授与式が行われました。学部3,562名、修士課程（専門職含む）1,383名、博士課程（論文博士含む）68名、専攻科11名の計5,024人に学位記・修了証書を授与しました。式典では、学長式辞および理事長祝辞のほか、増渕忠行理窓会会長より祝辞、卒業生代表からの謝辞、東京理科大学大村賞、東京理科大学奨励賞の授与も行われました。また、体調不良等の理由により参加できなかった学生やご来場いただけなかったご家族の方々に向け、ライブ配信も行いました。

当日のアーカイブ動画を公開中です。本学ホームページをご覧ください。

本学公式ホームページをリニューアル

TOPICS 04

本学公式ホームページを2021年4月にリニューアルしました。今回のリニューアルは、本学のブランディングとして、理工系私立大学の最高峰としての「高等教育・研究機関」の情報を強く発信していくことをメインコンセプトにしています。トップページからは3クリックで全ページにアクセスできるようになり、大学のイメージ動画をご覧いただけるほか、ユーザー、メニューごとにおすすめや興味・関心の高いコンテンツを用意しました。また、利用者の多いスマートフォンでの表示にも対応しています。さらには、本学の最新の取り組みを集約したオウンドメディア「DISCOVER the TUS」や、受験生に興味・関心から本学の学びを探求してもらう「EXPLORE the TUS」など新たに設け、本学の魅力をより多くのユーザーに向けて情報発信していきます。

2021.4.1

新任教職員紹介

INFORMATION 02

2021年4月1日付で新しく教職員45名が着任しました。

【理学部第一部】物理学科・准教授 木村 智樹／応用数学科・准教授 鎌島 克輔／応用数学科・准教授 犬伏 正信
【理学部第二部】数学科・講師 遠藤 直樹／化学科・講師 原口 知之
【工学部】電気工学科・教授 和田 正義
【理工学部】数学科・講師 側島 基宏／物理学科・准教授 阿部 智広／情報科学科・講師 大村 英史／応用生物科学科・教授 西浜 竜一／応用生物科学科・准教授 萩原 明／先端化学科・教授 寺島 千晶／機械工学科・教授 小笠原 宏
【先進工学部】マテリアル創成工学科・教授 渡邊 敏之／マテリアル創成工学科・講師 梅澤 雅和／生命システム工学科・准教授 近藤 周／生命システム工学科・准教授 高橋 史憲／生命システム工学科・准教授 吉田 優
【経営学部】経営学科・教授 椿 美智子／経営学科・教授 佐藤 治／経営学科・講師 柳田 具孝／ビジネスエコノミクス学科・講師 岸下 大樹／国際デザイン経営学科・准教授 Hyejung Lee／国際デザイン経営学科・講師 鈴木 美央
【理工学研究科】国際火災科学専攻・教授 桑名 一徳
【経営学研究科】技術経営専攻・教授 中山 裕香子
【教育支援機構教職教育センター】准教授 大浦 弘樹
【教養教育研究院】
＜神楽坂キャンパス＞教養部・講師 Simpson William／教養部・講師 渡丸 嘉菜子
＜野田キャンパス＞教養部・准教授 斎藤 明宏／教養部・准教授 安田 利典
＜葛飾キャンパス＞教養部・教授 昼間 賢／教養部・教授 金 凡性／教養部・准教授 金澤 淳子／教養部・講師 板場 綾子／教養部・講師 柳沢 明文
＜北海道・長万部キャンパス＞教養部・准教授 橋爪 洋一郎／教養部・講師 鄭 稼棋／教養部・講師 江夏 洋一
【事務総局】新垣 ロドリゴ優介／上田 大智／河原 彩奈／佐藤 絢音／佐原 里奈／平澤 美帆

2021.3.31

定年退職

INFORMATION 01

長年にわたり本学の教育・研究、事務にご尽力いただいた30氏が2021年3月31日付で定年を迎えられました。

【理学部第一部】数学科・教授 若山 正人／物理学科・教授 三浦 和彦／応用数学科・教授 佐藤 洋祐 【理学部第二部】数学科・教授 宮岡 悦良 【薬学部】薬学科・教授 鍛冶 利幸
【工学部】電気工学科・教授 加藤 清敬／電気工学科・教授 村口 正弘／情報工学科・教授 古川 利博 【理工学部】教養・教授 小林 酉子／数学科・教授 立川 篤／物理学科・教授 齋藤 晃一／物理学科・教授 半澤 克郎／応用生物科学科・教授 古市 貞一／機械工学科・教授 川口 靖夫 【基礎工学部】生物工学科・教授 島田 浩章／生物工学科・教授 堀戸重臣／生物工学科・教授 村上 康文／教養・教授 横山 秀樹 【経営学研究科】技術経営専攻・教授 荻野 誠／技術経営専攻・教授 宮永 博史
【事務総局】学生支援部・参事 小林 秀至／学術情報システム部・参事 関口 和仁／国際部・参事 D.Narayan／研究推進部・参事 金子 真理／学術情報システム部図書館事務課・主事 狩野 延枝／学術情報システム部情報システム課野田ITサポート室・技師補 松村 恒夫／野田統括部野田統括課・技能員 赤澤 豊信／学務部・参事 東甫 伸一／学務部学務課・参事補 泉 宏紀／保健管理センター・看護師 伊藤 享子

訃報　元薬学部薬学科　長沢 元夫 教授　2020年11月30日逝去されました。　元基礎工学部材料工学科　井形 直弘 教授　2020年12月28日逝去されました。

維持拡充資金（第二期）寄付者芳名

「維持拡充資金（第二期）」にご賛同いただき、ご寄付を賜った方々のご芳名を掲載します。
今回は、2020年11月1日～2021年1月31日までにご入金いただいた分です。ご芳名は区分別・金額別・五十音順ですが、区分で重複する方はいずれか一つに掲載させていただきました。累計は維持拡充資金（第二期）の寄付額です。

お問い合わせ先　東京理科大学募金事業事務室
TEL:03-5228-8723　FAX:03-3260-4363
email:bokinjigyo@admin.tus.ac.jp

【個人】
＜同窓生＞
◇金10,000,000円
横田 誠 様
（累計金62,010,000円）
匿名1名
◇金4,000,000円
匿名1名
◇金2,000,000円
小嶋 喜久夫 様
（累計金3,900,000円）
◇金1,000,000円
植村 諒子 様
皆川 純史 様
（累計金1,500,000円）
◇金900,000円
木下 幸二 様
◇金500,000円
吉田 武史 様
（累計金2,500,000円）
◇金300,000円
阿部 隆 様
（累計金1,150,000円）
◇金160,000円
松崎 栄仁 様
（累計金500,000円）
◇金150,000円
田島 英幸 様
（累計金270,000円）
◇金100,000円
岩崎 任男 様
（累計金170,000円）
梅本 佳世 様
（累計金250,000円）
大熊 壮成 様
（累計金1,300,000円）
小鹿原 秀純 様
上村 陽一郎 様
（累計金540,000円）
小林 祥晃 様
（累計金300,000円）
佐野 吉彦 様
田上 英二郎 様
田代 寛 様
（累計金250,000円）
中辻 敏博 様
根本 悦朗 様
（累計金850,000円）
藤井 博文 様
増古 恒夫 様
（累計金500,000円）
増村 清人 様
（累計金350,000円）
松村 亘 様
（累計金200,000円）
三木 一能 様
（累計金700,000円）
守屋 茂 様
（累計金1,460,000円）
籔田 直子 様
籔田 元志 様
山本 茂 様
（累計金200,000円）
吉田 耕太郎 様
和田 弘 様
（累計金200,000円）
匿名6名
◇金80,000円
岡村 武 様
（累計金130,000円）
◇金70,000円
輪島 幸治 様
（累計金100,000円）
匿名2名
◇金50,000円
赤石 庄平 様
（累計金1,000,000円）
阿部 正敏 様
（累計金410,000円）
五十嵐 幹治 様
（累計金71,000円）
五十嵐 丈夫 様
（累計金150,000円）
石崎 寛治郎 様
（累計金150,000円）
市川 兼三 様
（累計金300,000円）
今泉 精一 様
（累計金280,000円）
大久保 清 様
（累計金200,000円）
岡野 誠 様
（累計金60,000円）
岡本 公爾 様
（累計金23,850,000円）
小野 洋 様
（累計金250,000円）
梶原 巡 様
（累計金2,950,000円）
片山 貴雄 様
（累計金180,000円）
加藤 芳丈 様
（累計金100,000円）
河原 郁夫 様
（累計金100,000円）
葛田 正雄 様
（累計金2,390,000円）
倉根 孝夫 様
（累計金60,000円）
齋藤 芳則 様
佐伯 俊一 様
（累計金150,000円）
酒匂 昭男 様
（累計金650,000円）
佐藤 光伸 様
（累計金150,000円）
澤田 利夫 様
（累計金100,000円）
清水 毅 様
菅原 寛子 様
（累計金600,000円）
杉崎 三郎 様
（累計金100,000円）
諏訪部 喜義 様
（累計金800,000円）
高木 真人 様
（累計金210,000円）
髙橋 利行 様
（累計金100,000円）
髙山 信暁 様
田口 清治 様
（累計金150,000円）
立花 輝一 様
（累計金350,000円）
竜田 博 様
（累計金300,000円）
田畑 裕介 様
（累計金150,000円）
寺脇 康文 様
（累計金850,000円）
鳥羽 陽子 様
（累計金120,000円）
富澤 儀一 様
（累計金250,000円）
中島 かほる 様
（累計金300,000円）
野口 令子 様
（累計金300,000円）
波多野 房子 様
（累計金200,000円）
菱沼 捷二 様
（累計金400,000円）
福田 昇 様
（累計金250,000円）
福田 博信 様
（累計金80,000円）
藤原 秀夫 様
（累計金63,000円）
二見 靖彦 様
（累計金370,000円）
古川 正昭 様
（累計金100,000円）
牧野 正博 様
（累計金150,000円）
増渕 忠行 様
（累計金550,000円）
三浦 康男 様
宮宅 勇二 様
（累計金370,000円）
宮崎 哲男 様
（累計金220,000円）
望月 哲夫 様
（累計金310,000円）
横山 長幸 様
（累計金120,000円）
渡辺 浄光 様
（累計金130,000円）
匿名11名
◇金30,000円
池田 二郎 様
（累計金60,000円）
石崎 舞子 様
（累計金180,000円）
海野 格 様
（累計金280,000円）
岡村 希光 様
高村 泰雄 様
（累計金330,000円）
深澤 昭彦 様
（累計金260,000円）
富士川 克美 様
（累計金120,000円）
松岡 是治 様
（累計金110,000円）
匿名4名
◇金25,000円
中西 基之 様
（累計金125,000円）
◇金20,000円
相原 奎二 様
（累計金510,000円）
東 義紀 様
（累計金350,000円）
兼田 好彦 様
（累計金295,000円）
木村 哲志 様
権田 武彦 様
（累計金55,000円）
齊藤 曜將 様
（累計金130,000円）
牧野 誠司 様
山口 潔 様
（累計金50,000円）
山崎 一信 様
（累計金480,000円）
匿名3名
◇金15,000円
岡田 一成 様
（累計金330,000円）
◇金10,000円
相島 昭敏 様
石田 一将 様
（累計金110,000円）
岩岡 正視 様
（累計金100,000円）
河合 登 様
河野 茂薫 様
（累計金190,000円）
小嶋 延吉 様
（累計金90,000円）
小林 茂雄 様
（累計金40,000円）
近藤 英世 様
（累計金190,000円）
坂田 康雄 様
（累計金110,000円）
鈴木 克巳 様
（累計金130,000円）
陶山 幸男 様
（累計金20,000円）
高梨 秀聡 様
（累計金110,000円）
田中 輝昭 様
（累計金240,000円）
柳楽 勝 様
（累計金180,000円）
成田 暁彦 様
（累計金50,000円）
平井 淳一 様
（累計金410,000円）
平山 豊 様
（累計金60,000円）
細町 泰彦 様
（累計金30,000円）
松岡 数憲 様
（累計金30,000円）
松田 久美男 様
（累計金20,000円）
御滝 達雄 様
（累計金120,000円）
矢野 裕之 様
（累計金130,000円）
匿名3名
◇金9,000円
相本 亮 様
（累計金132,000円）
◇金7,000円
宮崎 隆弘 様
◇金5,000円
青山 哲也 様
（累計金125,000円）
小倉 正敬 様
（累計金87,000円）
児玉 翔 様
（累計金60,000円）
◇金3,000円
椎名 和蔵 様
髙橋 慎 様
（累計金31,000円）
髙橋 昌之 様
吉田 幸央 様
（累計金104,000円）
匿名4名
＜父母保証人＞
◇金100,000円
皆川 彰久 様
（累計金1,000,000円）
◇金50,000円
匿名1名
＜一般個人＞
◇金100,000円
相馬 百合子 様
＜元教職員＞
◇金200,000円
松崎 育弘 様
（累計金2,700,000円）
◇金50,000円
岩片 古志郎 様
（累計金400,000円）
上村 洸 様
（累計金510,000円）
坂田 好一郎 様
（累計金300,000円）
杉山 俊隆 様
（累計金100,000円）
寺本 隆幸 様
（累計金60,000円）
山口 俊和 様
渡邉 昭二 様
（累計金400,000円）
匿名2名
◇金30,000円
早川 あけみ 様
（累計金360,000円）
◇金10,000円
白川 晋吾 様
（累計金330,000円）
匿名1名
＜教職員＞
◇金600,000円
宮本 悦子 様
（累計金1,680,000円）
◇金300,000円
佐々木 健夫 様
（累計金500,000円）
◇金200,000円
浜本 隆之 様
（累計金400,000円）
◇金100,000円
勝山 洋美 様
（累計金250,000円）
金子 堅司 様
岸本 一男 様
古賀 義人 様
（累計金300,000円）
鹿村 恵明 様
（累計金1,100,000円）
東平 光生 様
中村 文一 様
本間 芳和 様
匿名1名
◇金50,000円
秋元 琢磨 様
鵜澤 真治 様
（累計金350,000円）
金刺 亮介 様
近藤 行成 様
眞田 克典 様
福山 秀敏 様
（累計金1,040,000円）
藤井 志郎 様
（累計金270,000円）
矢部 博 様
（累計金600,000円）
匿名1名
◇金30,000円
五十嵐 保隆 様
（累計金700,000円）
松田 良一 様
（累計金214,000円）
匿名1名
◇金10,000円
臼井 恵美子 様
（累計金100,130円）
加藤 晃 様
後藤 了 様
（累計金110,000円）
斎藤 顕宜 様
佐竹 彰治 様
（累計金60,000円）
関 陽児 様
（累計金50,000円）
津留 美智代 様
牧 高司 様
（累計金210,000円）
村岡 正宏 様
八並 光俊 様
（累計金110,000円）
匿名4名
◇金6,000円
匿名1名
◇金5,000円
匿名2名
◇金4,000円
匿名1名
◇金3,000円
岩岡 竜夫 様
（累計金98,000円）
【団体】
◇金50,000円
東京理科大学
ワンダーフォーゲル部OB会 様
（累計金300,000円）
◇金20,000円
東京理科大学理工学部
機械工学科熊谷研OB会 様
【こうよう会】
◇金65,000,000円
家計急変学生の支援
◇金575,000円
個人11名
（累計金491,897,507円）
【法人】
◇金1,000,000円
梶原電工株式会社 様
（累計金1,300,000円）
ニッタン株式会社 様
◇金100,000円
株式会社ツリーベル 様

○入金額（2020年11月1日～2021年1月31日）
[個人]40,898,000円(230名)
[団体]70,000円
[こうよう会]65,575,000円(16件)
[法人]2,100,000円(3社)

○2020年度 寄付総額（2020年4月1日～2021年1月31日）
[個人]98,178,253円
[団体]570,000円
[こうよう会]68,395,066円
[法人]10,300,000円

寄付金のお申し込みにインターネットをご利用いただけます。
インターネットからのお申し込みはこちらから。

新型コロナウイルスへの対応について

新型コロナウイルスに関する情報は、日々状況により変化するため、それに応じて大学も授業の実施などの対応方針を大学HPでお知らせいたします。定期的に最新情報をご確認ください。また、新型コロナウイルスに対する大学の取り組みについては、特設サイトでもご案内しております。こちらもご覧ください。

デジタルバックナンバー

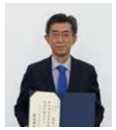
東京理科大学報
TUS Journal

学報（TUS Journal）のバックナンバーは本学HPで公開しています。

東京理科大学名誉教授称号授与

TOPICS 05

本学は、長年にわたり本学の教育・研究の発展に尽力し、多くの功績を挙げた先生方に対し名誉教授の称号を2020年11月12日付で3名、2020年4月29日付で1名に授与しました。


渡辺 一之 先生

1989年度に理学部第一部物理学科の助手として着任され、以来31年間にわたる在職中、理学部第一部物理学科主任、大学院理学研究科長、大学図書館長、2018年度以降は副学長を務められるなど本学の教育・研究および大学運営、発展にご尽力されました。研究面では計算物理学的手法、特にスーパーコンピュータを駆使した物質物理学とその応用技術に向けた研究に従事し、世界的にも高く評価され、倉田奨励金の受賞や、東京都功労者として表彰されています。

江川 嘉美 先生

1981年7月に理学部第一部応用数学科の講師として着任され、およそ39年間の在職中には理学部第一部応用数学科主任、幹事、大学院理学研究科幹事、神楽坂図書館長などの補職を歴任され、本学の教育・研究および大学運営に多大な貢献をされました。専門は、離散数学におけるグラフ理論であり、主としてグラフの閉路と連結度についての研究をされ、多くの修士課程、博士課程の学生を指導されました。

井上 隆 先生

1989年度に理工学部建築学科に講師として着任以来31年間にわたり、理工学部建築学科主任、幹事、大学院理工学研究科幹事など歴任され、教育面では極めて多くの優秀な人材を育て世に輩出されました。専門領域学会の会長や国内外さまざまな委員等を歴任、学会賞など数多く受賞され、建築・住宅の省エネルギー・環境負荷低減に係る幅広い研究活動、および建築環境工学分野の専門家・学識経験者としての貢献といった業績の社会的な影響は計り知れないものがあります。

山田 康洋 先生

1997年度に東京理科大学助教授として着任され、以来23年間にわたり本学学生の教育および研究に尽力してこられましたが、2020年4月29日に病気により急逝されました。理学部第二部化学科主任、同教務幹事、大学院総合化学研究科長等を務められ、理学部第二部のみならず、本学全体における教育・研究環境の整備・向上に尽くされました。日本メスバウアー学会会長をはじめとして国内学のさまざまな学会の運営や会議のオーガナイザーの仕事も活発にされていました。

事業計画書

TOPICS 07

学校法人東京理科大学では、私立学校法の定めにより、毎年度作成する「事業計画」について、評議員会の意見を聴いておりますが、このたび「2021年度事業計画(案)」に対し同意の議決が得られ、理事会において承認されましたので、お知らせします。また、事業計画書の全文は、本学公式ホームページにて公開していますので、ご参照ください。

2020年度経常費補助金

TOPICS 06

日本私立学校振興・共済事業団は、各学校法人に対して2020年度私立大学等経常費補助金を交付しました。これは、①私立大学等の教育研究条件の維持向上、②学生の修学上の経済的負担の軽減、③私立大学等の健全性向上に資するために、経常的経費について補助するものです。本学においては、33億2,906万円（前年度35億1,100万7,000円）、となり、前年度に比して減額となっています。

2020年度

国家公務員採用総合職試験合格者表彰式

TOPICS 09

2020年度の「国家公務員採用総合職試験合格者表彰式」は密を避けるため、キャンパスごとの開催とし、2020年12月11日（金）および12月14日（月）に各キャンパスでそれぞれ行われました。表彰式には、河合武司キャリア支援センター長、衣笠秀行公務員対策委員長をはじめとした各地区キャリア支援副センター長と、国家総合職試験合格者および教職員が出席し、合格者には表彰状が授与されました。本学では学年を問わず公務員志望者を支援しており、公務員試験に向け各種対策支援行事を実施しています。今年度の国家公務員採用総合職試験には本学から50名（昨年50名）が合格し、大学別の合格者数順位では11位（私立大学中4位）と、全国屈指の実績を上げています。各キャンパスの就職課では、各種資料を豊富に揃え、随時相談に応じています。今後、進路の選択肢として公務員を考える学生は積極的に活用してください。

※撮影時のみマスクを外して撮影しました。

2021年度　予算

TOPICS 08

２０２１年度については、葛飾キャンパスの再編に備え、安定した財務基盤の確立および発展につなげられるよう予算編成を行いました。キャンパスの充実や研究施設の拡充に加え、新型コロナウイルス感染症に係る予算として奨学金（支援金）等の総額４億円を措置しながら、業務改善などを通じて事務の効率化を図ることにより支出を抑えることで、経常収支差額がプラスとなるよう策定しました。

経常収入	
学生生徒等納付金	25,450
手数料	1,720
寄付金	400
経常費等補助金	3,480
付随事業収入	2,540
受取利息・配当金	600
その他	900
経常収入合計	35,090

経常支出	
人件費	15,925
教育研究経費	15,368
管理経費	2,550
借入金等利息	212
その他	0
経常支出合計	34,055

経常収支差額	1,035
特別収入	535
特別支出	452
特別収支差額	83
予備費	300
基本金組入前当年度収支差額	818

（単位：百万円）
※詳細はホームページへ掲載予定。

入試結果

TOPICS 11

2月2日（火）から始まった本学の2021年度一般入試は、3月4日（木）をもって全日程が終了しました。志願者数は4万9,301人（昨年度5万6,355人）でした。

学部	A方式	B方式	C方式	グローバル方式	合計
理一	2,371	5,599	656	371	8,997
理二	497	680	-	-	1,177
薬	1,054	1,537	277	94	2,962
工	2,324	7,190	669	367	10,550
理工	3,840	10,043	985	518	15,386
基工	1,625	3,801	425	272	6,123
経営	876	2,683	234	313	4,106
総計	12,587	31,533	3,246	1,935	49,301

進路状況

TOPICS 10

本学学生の進路選択の特徴として、学部学生の約5割におよぶ大学院修士課程への進学と、学部卒業者・修士修了者ともに、企業・公務員・教員など実力主義に培われた力を活かした職への高い就職率が挙げられます。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の採用活動の一時中止・オンライン面接への移行、公務員採用試験日程の順延など、2021年3月卒業・修了者にとって前例にない就職活動となりました。学生の不安を払拭するため、キャリアセンターも電話・メール・オンラインで相談を継続しました。2021年3月卒業者の進路決定率は95%とほぼ例年並み（2020年3月卒96%）となり、本学学生の実力を示す結果となりました。キャリアセンターでは2021年度もこの経験を元に、オンライン・対面を上手く組み合わせ、学生にとってより良い支援の提供に努めます。

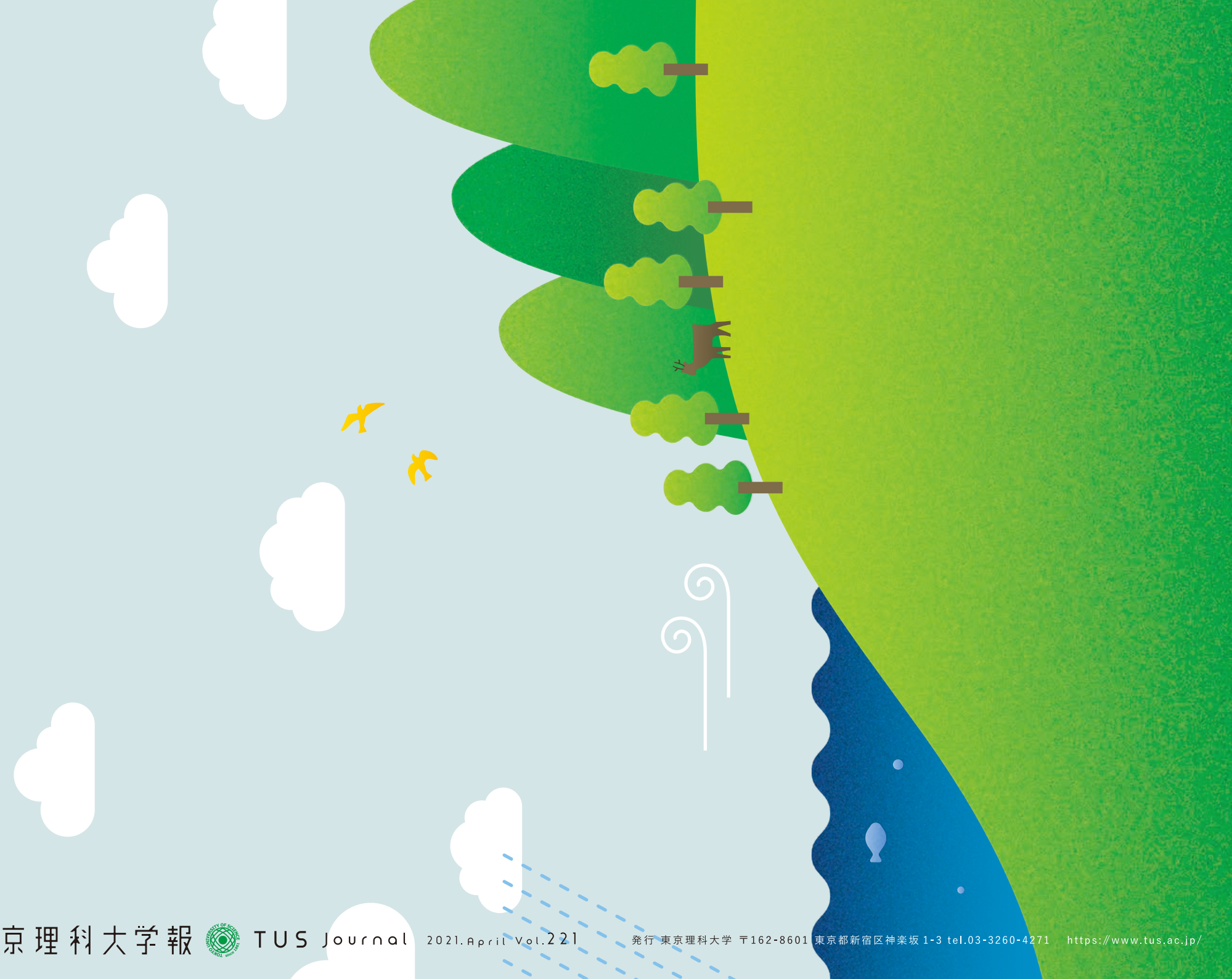
企業	内定者数
(株)日立製作所	33
(株)エヌ・ティ・ティ・データ	29
東京電力ホールディングス(株)	27
NECソリューションイノベータ(株)	25
富士通(株)	25
ソニー(株)	23
SCSK(株)	20
(株)野村総合研究所	18
TIS(株)	18
日本アイ・ビー・エム(株)	17
パナソニック(株)	17
アクセンチュア(株)	16
(株)NTTドコモ	16
キオクシア株式会社	16
ソフトバンク(株)	16

公務員	内定者数
東京都(都職員)	15
埼玉県(県職員)	7
国土交通省	6
千葉県(県職員)	5
神奈川県　横浜市職員	3
防衛省　陸上自衛隊	3
経済産業省	3
防衛省	3
防衛省　海上自衛隊	2
静岡県　浜松市職員	2
厚生労働省　労働基準監督官	2
会計検査院	2
国土交通省　関東地方整備局	2

中学・高校教員	内定者数
公立	54
私立	34

TOPICS & INFORMATION

2021.SPRING



東京理科大学報 TUS Journal 2021.April Vol.221

発行 東京理科大学 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3 tel.03-3260-4271 https://www.tus.ac.jp/